

平成 24 年度滋賀県がん診療連携協議会・第 2 回研修調整部会 議事概要

日 時 平成 25 年 2 月 26 日 (火) 18 時 00 分～19 時 40 分
場 所 滋賀医科大学医学部附属病院 第 4 会議室
出席者 滋賀医科大学医学部附属病院 (部会長: 谷 消化器外科診療科長、多川副看護部長)、大津赤十字病院 (副部会長: 山中第一呼吸器科部長、北川看護部副部長)、滋賀県立成人病センター (副部会長: 山本副院長、吉田看護部副部長、谷本主任主事)、公立甲賀病院 (山崎放射線科部長、松林看護部看護師係長)、彦根市立病院 (吉川診療局主任部長、木下外来科長補佐)、市立長浜病院 (田久保呼吸器外科責任部長、山岸看護局係長)、大津市民病院 (高見総合内科部長)、草津総合病院 (森谷頭頸部外科センター長)、済生会滋賀県病院 (馬場病理診断科部長)、近江八幡市立総合医療センター (宮下副院長)、長浜赤十字病院 (中村医療社会事業部長)、国立病院機構滋賀病院 (辻川副院長)、滋賀県医師会 (大西理事)、滋賀県歯科医師会 (尾松理事)、滋賀県薬剤師会 (大西介護福祉部委員)、滋賀県看護協会 (辻橋教育部長)、滋賀県放射線技師会 (平田理事)、滋賀県臨床検査技師会 (岩井常務理事)、滋賀県歯科衛生士会 (玉井歯科衛生士)、滋賀県健康福祉部健康長寿課 (要石主幹)、【部会事務局】滋賀医科大学医療サービス課 (奥村課長補佐、中森専門職員)

1. 報 告

今回から、部会員として草津総合病院頭頸部外科センター長 森谷 季吉先生に加わっていただいたことの報告があった。

2. 議 題

(1) 一般市民への研修会受講評価システムについて

前回の部会で、検討チームを作り検討することになったが、その中で患者会の方の意向を確認してはどうかとの意見があったので、滋賀県がん患者団体連絡協議会の菊井会長にお聞きしたところ、

カード方式又はスタンプ方式などのインセンティブは、患者側にとってモチベーションが上がるわけでもなく必要でない。それより、フォーラムなどの開催時期などが重複しないよう調整、リアルタイムの講演会等情報、参加できなかった者へのフォロー (例えば、ネット上で講演会等のビデオを視聴できる。資料をダウンロードできる。等) をしてほしい。との意見であった。

議論の結果、患者会から要望のある、開催時期の重複調整、リアルタイムの情報提供については継続して取り組んでいくこととするが、市民に対するカード方式、スタンプ方式などによるインセンティブ付与は見送ることとした。なお、参加できなかった者へのフォローについてはビデオの管理、保存、著作権の問題等があるため、断念した。

(2) フォーラムの計画について

平成 25 年度に各病院等が開催されるフォーラムについて、テーマ、開催時期などを調整するため、各病院の開催予定を提出していただき、本部会でとりまとめて報告

した。

第1回 平成24年8月現在 平成24年10月1日にメールにより通知
第2回 平成25年1月現在 平成25年2月12日にメールにより通知

(3) がん看護研修について

本部会に看護WGが設置され、県内のがん看護のレベル向上を図ることを目的として、看護WGが中心となって統一したがん看護研修を実施することとした。

本年度は、プログラム1（がん看護実践の基盤となる基礎研修）を成人病センターと滋賀医大病院が実施した。今後、平成25年から26年には、各拠点病院、支援病院で実施していく。

さらに、プログラム1修了者を対象にするプログラム2（質の高いがん看護実践を目指す研修(看護の実際)）を平成26年～28年に実施することとした。

プログラム1及び2を終了した者には、がん診療連携協議会から修了証を発行する予定である。

(4) 平成24年度の実績結果について

次のとおり報告した。

[部会開催]

平成24年 7月 3日(火) 第1回研修調整部会
平成25年 2月26日(火) 第2回研修調整部会

○がん関係フォーラム・講演会等開催情報について

平成24年7月から、がん関係フォーラム・講演会等の開催情報を1カ月ごとに定期的更新し、協議会のホームページに掲載を行っている。

現在、平成25年1月末現在のフォーラム・講演会等開催情報を同ホームページに掲載中である。

○各拠点病院等が開催するがん関係フォーラム予定について

平成25年度の各拠点病院が開催されるフォーラムについてテーマ、開催時期などの調整するため 各病院の予定を提出してもらい、本部会で、まとめ報告した。

○研修会受講評価システムについて

各団体での研修会参加のインセンティブ対応をとることは可能である。がん看護研修においては、統一的な研修と終了証書を発行するインセンティブ付与を実施した。

一般市民参加の講演会など参加のインセンティブについて、再度検討し、カード方式、スタンプ方式などによるインセンティブ付与については見送ることとした。

○都道府県からの推薦が必要な国立がん研究センター指導者研修の受講調整について

① がん看護研修企画・指導者研修（平成24年度は都道府県からの推薦は必要な

し)

- ② がん看護専門分野(指導者)実地研修 ⇒ 公立甲賀病院1名 推薦
- ③ がん化学療法医療チーム養成指導者研修 ⇒ 公立甲賀病院が応募 不採択
(平成25年度 公立甲賀病院 平成26年度 彦根市立病院、平成27年度 市立長浜病院)
- ④ 平成25年度抗がん剤治療調剤に携わる薬剤師(指導者)講義研修及び実技研修について
講義研修・実技研修 公立甲賀病院、市立長浜病院、滋賀医科大学医学部附属病院
実技研修 大津赤十字病院
以上4件の受講調整を行った。
部会員から、応募するが不採択となるため、県から国立がん研究センターに応募 枠増を要望してほしいとの意見があり、企画会議に報告することになった。

(5) 平成25年度 of 取組予定について

次のとおり報告した。

- がん診療連携拠点病院が統一したがん看護研修実施について
全ての拠点病院で実施することとしている。
- がん関係フォーラム・講演会等開催情報について
各機関で実施される情報を取りまとめて協議会ホームページに掲載する。
月末までにいただいた情報を翌月早々に更新していく。
- 平成26年度 各拠点病院等が開催するがん関係フォーラム予定について
今年度と同様、各拠点病院から予定情報をいただき、情報提供していく。
- 都道府県からの推薦が必要な国立がん研究センターの受講調整について
次の研修の受講調整を実施する。
 - ①がん看護専門分野(指導者)実地研修
 - ②がん化学療法医療チーム養成指導者研修 平成25年度 公立甲賀病院
(平成26年度 彦根市立病院、平成27年度市立長浜病院)
 - ③抗がん剤治療調剤に携わる薬剤師(指導者)講義研修及び実技研修
- 支援病院の参画を含めて、研修会の実施計画、充実化(分野、地域)について検討していく。

(6) その他

- 本部会でフォーラムの調整等をする事について次の意見があった。
 - ・市民向けの講座等を毎年実施しており、日程等は動かしづらい。(大津赤十字病院)
 - ・大津地域と長浜地域が例え重なっても、離れているので現時点で調整しなくてもよいのではないか。各機関が積極的に実施している状況にあるので今しばらくこのままで良いのではないか。(公立甲賀病院)

- ・毎年系統立った研修をしており、日程調整は困難である。(彦根市立病院)
- ・第6回がんフォーラムを7月に予定している。日程調整は困難であるが、内部的には2月開催の県とのバランスを考えて計画している。(市立長浜病院)

[職種別、分野別の研修会は足りているのか]

- ・県細胞学会、成人病センターとがん関係の講義、実習を行った。(滋賀県臨床検査技師会)
- ・臓器別のがん(頭頸部): 仲間内の独自の研究会等は実施している。(草津総合病院)

○次年度に向けての新しい事業等について次の意見があった。

地域的に講演会研究会が事足りているか

- ・県から、分野、内容、方向性を示してもらい、各フォーラム等にとり入れていったらどうか。(国立病院機構滋賀病院)
- ・各講師の得意分野を集めて、どの地域でも一緒に教材を使用(均展化)すればどうか。(国立病院機構滋賀病院・滋賀県医師会)
- ・成人病センターと口腔がんについて連携している。まとまってくれば、個々にUPしていきたい。(滋賀県歯科医師会)
- ・支援病院は、拠点病院の指導のもとで進めていくと聞いていたが、そのようなこともない。どのように関わっていけばよいのか。(長浜赤十字病院) (県: 関わり方を整理する。)
- ・支援病院は実施の義務はないが(インセンティブもない)、拠点病院はどのような考えで行っておられるのか。県からがん統計、治療成績等を出していただけたら、研修会に使っていただけるのではないかと。(近江八幡市立総合医療センター)
- ・各病院等で競争するような研修になっているが、負担も大きいので、共催も考えていくことも必要なのではないか。(済生会滋賀県病院)
- ・大津市民病院大学を開催しているが、支援病院としては未だ寂しい状況にある。拠点病院を支援するためにも声をかけていただきたい。(大津市民病院)
- ・病院内で職種間のサポートの進展はある。支援病院を含めて協力していければと思う。(市立長浜病院)
- ・当部会のスケジュール調査により、病院の日程検討ができた。(公立甲賀病院)
- ・予定情報 各医療圏で何回研修会等があるか、表又は地図に入れてほしい。(大津赤十字病院)

議論の結果、次の事項について、実施、検討することとした。

- 1) 支援病院の役割(関わり方等)について
- 2) 分野ごとの講演会、研修会等の過不足検討について
- 3) フォーラム・講演会等開催情報一覧表の表示項目の追加等について

以上